

2年生立志式 おめでとうございます

立春前の1月31日に、多くの保護者の方が見守ってくださる中で、2年生68名の立志式が行われました。式の運営は学級委員が行い、生徒代表による「立志のことば」では、自分が選んだ漢字一文字と、そこに込められた思いを堂々と発表しました。

式後の記念講演では、倉敷市青少年育成センターの山谷幸正先生に『カンボジア人よりカンボジア人らしく ～教師を辞めてたった一人でカンボジア！？～』という演題で、一步を踏み出す行動力の大切さや、勉強が自分の進路選択を広げる武器になるということをお話してくださいました。先生が教えられたカンボジアの日本語教室で、勉強をしたくても貧しくて鉛筆やノートが買えない現地の子どもたちが、収入を得るために一生懸命に日本語を勉強している姿を見て、自分の生活が恵まれすぎていることに気づいた生徒もたくさんいました。



【決意の一文字と込められた思い】



◎尾崎さんの一文字「達」

ぼくはこの漢字に日常生活や定期考査などで、はっきりとした目標を決めること。そして、その目標を達成することと高校入試という最大の目標を達成するという思いを込めました。

◎山野さんの一文字「高」

ぼくがなぜこの漢字にしたかという、僕はあまり頭がよくないので、少しでも高い点数でいい高校に行ければという願いと、僕はバレーボール部なのにあまり背が高くないので、背が高くなりたいという思いからです。

◎中務さんの一文字「晴」

晴れの日のように、これからの人生を前向きに生きていけるように、そして、名前に込められた晴々しい人生になるようにという思いを込めました。

◎山中さんの一文字「挑」

今までの私はたいへんなことがあると、弱音をはいてしまったりしてあきらめようとすることもあったけど、これからは高い目標を持ち続けて、それに向かって常に挑戦し続ける、どんなに困難で苦しいことも最後まで挑戦し続ける思いを込めました。

[生徒の感想から]

- ぼくは、今まで勉強をあまりしなくて勉強なんかやる必要がないと思っていました。でも今日の講演を聴いて、カンボジアでは勉強をしたくてもできない子や路上で勉強をする子などがいて、ぼくは恵まれた環境に生まれてきたのだから勉強をまじめにして、勉強がしたくてもできない子の代わりに一生懸命に勉強していこうと思いました。(S. Y)
- カンボジアについてよく知らないことが多かったですが、内戦があったことや子どもたちがたいへんなことなど、自分の知らないことを今回たくさん知ることができました。山谷さんのように現地へ行って何かをするのは私にはできません。だから、私は日本で困っている人を見かけたら協力して助けられるような人になりたいし、やってみたいなどと講演を聴いて思いました。(Y. M)
- ストリートチルドレンの子どもたちがもらったお金をとる大人は、ひきょうだと思いました。でもよく考えると、大人も子どももお金がないからそんなことをするのだと思いました。僕は、日本という豊かな国に生まれてよかったと思うと同時に、なんか悲しくなりました。(S. Y)
- 先生がカンボジアやフィリピンなどの貧困状態の子どもたちを助けている理由、きっかけを知ることができました。そのきっかけの中で、「物資を与えるだけでは何も変わらない」という言葉が心に残りました。日本の何気ない生活が、アフリカや東南アジアではとてもうらやましいものだと思いに刻んで生活していきたいと思った。それに、日本で多くある食品ロスなどを家から減らすことが、今僕たちにできることだと思うので頑張っけてやっていきたい。立志を迎えた僕たちは、人助けができるようになりたいです。(M. Y)
- 私は積極的に行動することができないことがたくさんあるので、「行動力」をつけていこうと思いました。誰かのためになると思って行動することが大切だと思いました。私が将来どうなるかなんて予想もできないので、少しずついろいろな事を身につけていきたいです。話して下さったことを生かして、将来につなげていきたいと思います。(Y. A)

保護者のみなさまへ



2月5日(水)の参観授業、人権講演会、学年懇談会ではお忙しい中、多くの方にご来校いただきまして、ありがとうございました。心に残る保護者や地域の方が書いて下さった講演会の感想がたくさんありましたので、その中のいくつかを紹介させていただきます。

- ・先生のまっすぐな生き方に心を打たれ、力をもらった気がします。自分も子どもに関わる仕事をしており、様々な視点で見られるように気を遣っていこうと思えます。
- ・「命は障がい者も平等です。」たしかに……。改めて命の尊さを感じました。
- ・話を聴きながら、子どもが幼い頃のことを思い出しました。瑠璃さんの幼少期とあてはまる部分が多く、子どもは生き辛い生活を送っていたのではないかと、今になって反省して涙が出ました。親として、周りと違うことを不安に思うあまり、ありのままを受け入れてあげられていなかった気がします。「生きていくだけでいい」と改めて気づかせて下さってありがとうございました。
- ・いろいろな人が自分らしく生きていける社会になればよいと思えます。そのためには自分が変わらなければダメですね。「命に意味がある」というのは感じます。